

1992年度第3学年卒業式前日・最後の全体学習全体授業の記録(板野中学校3年全体)

主 題 「本当の思いを語り合える喜び」

1993年3月12日(金)

3年全体授業者 森口 健司

T 1: 今から最後の全体学習ということで話を進めていきたいと思います。またみんなのいろいろな思いを語り合いたいと思います。みんなが学校へ来るのも、今日を入れて3日だけですこの1年、B組、D組、C組、E組、A組と全部のクラスが1回ずつ公開授業をやって思いを語り合ってきたわけですけど、最後にこのことだけはみんなに伝えておきたい。このことだけは、みんなにわかってほしいと思うことを出し合う時間になったらと思います。昨晚ある子が電話をくれました。話の内容は、最後の全体学習を是非ともやってほしいということでした。先生もその子と同じ思いでいました。みんなの思いをもっともって聞いておきたいし、先生の中にもわかってもらいたい気持ちがいっぱいあります。全体学習、3年生の最後、思うことを出し、ほしいし、語ってほしいと思います。みんなの言葉を待っています。挙手してください。

DH(男)今まで全体学習をしてきて、3年生は初めに比べて十分まとまった学年になってきたと思います。いろいろな資料を使って学んできました。最後の全体学習も、1年生、2年生を交じえた全体学習にしたかったという思いがありましたが、3年生だけの全体学習になってしまいました。あと少しで僕たちは卒業なので、2年生にあとを継いでもらいたいと思っているし、3年生だけになってしまったこの授業を2年生へ贈る言葉として、この全体学習を進めていきたいと思います。

MK(女)今の発表を濁してしまうような感じになってしまうけど、最近、卒業式の歌の練習をしていたときに、私の友だちがいやがらせを受けたそうなんです。その友だちが悩んでいる顔をしてきたので、私が「どうしたん……」と聞いたら、隣の組の子にいやがらせを受けたって、すごく悲しそうに言ったので、私そのとき友だちに聞いたんです。「あんなの組の子、何も言わなかったん……」って言ったら、「ううん、見ていたけど知らんぶりばかりしよった」ってすごく悲しそうにしていたんです。「いやがらせやった子の友だちの〇〇さんも何も言わなかったん。あの子なら言うんとちがうん……」って聞いても「ううん、言わなかった。何も言うてくれなかった。」って言うんです。私すごく腹が立って、その子の組、B組に殴り込みに行こうと思ったんです。あんなに全体学習で良いことばかり言よって、実行に移せんのかと思って、森口先生がついているのにどうして止めることができんのかと思って、その夜、森口先生に電話したんです。いろいろ話をしてくれて心が落ち着いてきたんです。今まではみんなに期待を持ってしゃべっていったけど、私は今回の全体学習を通して、私の友だちやいじめられている子に対して、私自身どれだけ思いを伝えていくことができるか、自分自身を試すために訴えていこうと思います。

MK(女)みんなに言うけど、いじめられよる子が惨めでないです。いじめよる子が惨めなんです。私たちは全然惨めでないんです。いじめて差別するということは楽なんです。でも差別に立ち向かうということはすごく苦しいんです。差別に立ち向かう間は苦しいけど、それを乗り越えた時のうれしさってもう何とも言えんぐらいうれしいものなんです。

MK(女)最近、私は体育の時間のバスケットボールのゲームの時、私を嫌っている子たちにこてんぱんにやられたんです。突き飛ばされたんです。だけど私は負けなかった。試合でも8対8の同点だったし、私は全然反則も使わなかった。そのことは私が勝ったということなんです。そ

の子たちは私を脅してくるようによつかつてきたけど、私は全然脅されませんでした。私はだ
いぶ強くなれたと思うし、それはその子たちに勝ったということなんです。そういう私を見よ
って周りの子は、すごく情けないように思うかもしれないけど、私はこういう自分にすごく誇
りを持っています。私はこの1年ですごく強くなったなあと思って、その時の自分が何とも言
えないぐらいうれしかったんです。だから私の友だちにも強くなってほしい。強くなってから
何もかもが始まるんだと思います。みんなが言っている綺麗な事、差別はいけないという綺麗
な言葉はみんな発表しているけど、それは本当の綺麗な言葉ではないと思うんです。みんなは
今まで作文で綺麗なことを書いてきたけど、私は本当に綺麗な言葉は、ほんまに自分が強くな
って差別意識をなくし始めたとき綺麗な言葉って見えてくると思うんです。単に綺麗な言葉を探
して全体学習でしゃべることが、差別に立ち向かっていくことではないと思うんです。私は差
別者と闘うことが、差別問題に取り組むことだと思うんです。私はまだまだ発表していくけど、
私の友だちにも強くなってもらいたいし、そういう気持ちを込めて今日の全体学習に取り組み
たいと思います。

T 2: 本当に思っていることが言える関係であってほしいと思う。それがこの取り組みがスター
トした一番の理由なんです。この4月、みんなが3年生になったばかりの頃、入学式の歌の練
習をしていたとき、Kさんが言ったようなことがあったんです。一生懸命声を出して歌を歌っ
たら、椅子を引っ張られたり、嫌な言葉を言われたり、だから心の底から思いきり声を出して
歌うことができなかった。そんな訴えを4月にも聞いていたんです。私はそれはほんまの人間
の関係ではないと思ったんです。信頼し合えたら腹の底から歌が歌えるし、本当に思うことが
言える。そういうつながりをつくっていききたい。ほんまにみんながつながっていたら、それ
がこの学習のスタートだったと思うんです。でもまだまだ口惜しい現実がある。H君が言っ
てくれたこと、Kさんが言ってくれたこと、この全体学習が最後です。みんなの本当の思いでつ
ないでいってください。

YT(男)H君の発言について、僕も一緒になるかもしれないけど、ずっと全体学習をしてきて、僕
たちはいろんなことを学んできました。最終的には、みんな信頼できる仲間を創るために全体
学習に取り組んできたような気がします。この最後の全体学習を2年生や1年生に見てもらえ
ない聞いてもらえないのが、とても残念だと思います。こうやってビデオに映して1年生や2
年生に見せても、この会場にいて僕たちの熱気を感じながら授業を見るような感動はないと思
うんです。この学習のすばらしさは直接耳で聞いて目で見て、それでやっとわかっていくもの
だと思うんです。この全体授業でみんな1年生や2年生に伝えておきたいことがいっぱいある
と思うんです。僕たちの思いを思いきり語り合っていきたいと思います。

RO(女)Kさんの発表の中にも出てきたけど、3年生になってからの第1回目の全体学習で、友だ
ちに自分がいじめられているということを知らせて、助けてほしいと言われたことがあった
んです。そのことを自分なりに、この全体学習をしていく中で考えていったんです。これはこ
のままにしておいたらいけないと思いました。それでも私はその全体授業の中で、返答に一瞬
悩んでしまって、迷わずに発表することができなかったんです。それはやっぱり私の中に差別
心というものがあったからだと思います。けどその次の日だったと思うけど、いじめられてい
た友だちの周りに友だちが集まっていたんです。やっぱりみんなその子を守ってあげたいとい
う気持ちがあったんだと思います。そのこともあるんだけど、この全体学習とかを通して、自
分のいろいろなことに対するものの見方が変わっていったように思います。みんなの発言に励

まされてきたし、先生の発言や頑張りが私の中で大きなプラスになっていって本当に勉強になりました。この学習は絶対に続けてほしいと思います。先生に頼むような形になってしまうけど、来年もずっと頑張って続けてください。

K0(男)だれの中にも差別意識はあると思います。差別意識をなくすために、この全体学習に取り組んでいると思います。全体学習もこれからも続けていってください。よろしくお願いします。

DT(男)今まで1年間全体学習をしてきたので、1年、2年の人たちのもこれをずっと続けてもらいたいです。

DY(男)Kさんに言いたいんだけど、Kさんは友だちのために何かしてあげたことがありますか。それが無いからその友だちとかが、いじめられるんじゃないですか。

MK(女)私が友だちにやってあげたことは、私の友だちに聞いてみなければわからないけど、私は私なりにできることをやってきたという自信があります。だけどその友だちのためにどういう影響を与えることができているかは、その友だちに聞いてみなければわかりません。私は私の友だちのことについて話したいんだけど、器用な汚い生き方のできる友だちではないんです。だからこれからもどんどんいやがらせを受けるようになるかもわからないけど、負けないでほしい。私もどんどん強くなりたい。涙が出てくるけど許してください。私も強くなっていき、友だちにも強くなってもらいたい。はっきり言って私も私の友だちも、他の人にとつたらいてもいなくてもどちらでもいい存在だったんです。都合の良い時は優しくして、都合の悪い時はいじめて、私たちをいじめて発散して気持ちのいい顔をする。そういうようなことをしてたまに優しくしてくれた時に、私たちは単純だから、あの子は優しいんだと思ったら、すぐ裏切っいやがらせをしてくる。どうしてなんだろうと思います。私の友だちはそんな感じでいつもいやがらせを受けています。私は私の友だちに言いたい。これからもどんどんいやがらせを受けるかもしれないけど、差別者の思い通りになって、その人に合わせて、その人を祭り上げたら、その差別者は喜んでいるけど、そんな情けない生き方だけはしてほしくない。私たちは差別者の都合のいい人間になっていったらあかんと思う。私たちは絶対惨めではない。私たちが惨めな人間と思込ませよるのが差別者だと思んです。私たちをいじめて自分が上になったような気分にいる。そんな人間に絶対負けたらあかんと思う。だから強くなっていかなあかんと思う。私ができるのはそんな話をして友だちを励ますことだけです。助けることはできんけど、励まして一緒に頑張ることはできんと思う。私は友だちに私の生き方を見てもらって、友だちに勇気を持ってもらって、友だちが差別者と闘うような生き方をつかんでもらう。残念ながら最後に頼れるのは自分だけだと思うし、だから強くなってもらいたい。私もどんどん強くなっていくから、一緒に強くなっていきたい。私がこんなにしつこく友だちの話をするのは、私自身が今までいじめられてきたし、今も差別されているし、だからこそ惨めにされよる人間が強くなって差別者に勝っていかなあかんと思んです。私は私の友だちにかけているんです。今の私の友だちなら私のような生き方ができると期待しているから、私も一生懸命に頑張れるんです。

MK(女)これからも差別者にいじめられていくことがあると思う。その度に悩んでいたら生きていけんと思う。私だってたまに死にたいと思ったこともあるし、私みたいな人間はこの世で生きていけん、生きとるけんいじめられたりする、ほなけん死んだ方がいいと思ったことがあったんです。みんなには想像ができんかもわからんけど、死ぬか強くなるか。私にはその二通りしかないんです。私は強くなりたい。私の友だちにもこの全体学習で発表してもらって、本当に

強くなってほしい。私が友だちにできるのはここで手を挙げて友だちを一生懸命に励ますこと
しかないし、自分が強くなって生きていく姿を見てもらうしかないんです。

T 3: そこまで一生懸命になっている思い。今語ってくれた差別の本質というか構造というか。
自分が人をいたぶって見下げて踏みつけていく。それでもそのことに気づかないで、自分の差
別意識をごまかしていく。自分がなかなか見えてこない。早くみんな自身の本当の姿、人間と
しての本当の生き方やあり方に、目覚めてほしいという願いを持って思いを語ってくれる仲間
がいる。その仲間の思いにみんなの本当の思いをつないでほしいし、共に頑張っていく仲間の
一人であってほしい。ちょっときついかもしれないけど、みんなに言いたい。口先だけの格好
だけの見せかけだけの自らを偽った人間にはなってほしくない。本当に差別をなくしたいとい
う生き方をつかんでほしい。それがこの学習に取り組んでいる私の一番底にある思いなんです。
つなげてください。

ST(男) ちょっと水をさすようで悪いけど、こんな全体学習をみんなでやれてきたんだから、1年
や2年にもつないでいって、板野中学校の伝統にしてほしいと思います。

YM(男) Kさんが言ったように、自分がもっと強くなってほしいと思います。他の人がいよるこ
とを真似するのではなくて、自分なりの意見を持っていったら他の人とかに流されんと思
います。間違ったことを自分でしてしまったり、他の人がやっていることに自分も入って悪
いことをするというは、自分が弱いからそうになってしまうと思います。もっと自分の意志
を強くして、他の人に流されんようにしてほしいと思います。

NS(女) 私の友だちにお金を何回も持ってこいと言われてきた子がいました。でも私はその子
のために何もしてあげられませんでした。でもこうして全体学習をしてきて、私も少し変わ
ってきただよと思います。強くなれたような気がします。

AI(女) 全然関係のないことなんですけど、ちょっと言わせてください。これは3年生の初めか
ら思っていたことなんですけど、みんなの話が続いているのに立ち切るようで悪いんです
が、私が言いたいのは私の部活「美術部」のことなんです。美術部は私が2年の時は、Y先
生が指導をしてくれて同好会として立派に活動していました。そしてY先生がいなくなっ
て、美術部は廃部になりかけました。どうしてかという先生がいなくて活動ができない
ということでした。そして今度きた美術の先生も美術同好会を担当してくれないとい
うことでした。それで美術の先生でなくてもだれか顧問をつけてほしいと頼むと美術
同好会はY先生が好きでやっていた部活だから、ちゃんとした部活でないし、顧問は
つけられないということでした。美術部はその時10人程部員がいました。普通部活とい
うのは、やりたい人が集まってできるのが普通だと思
います。そして結局は教頭先生が顧問についてくれることになったんですが、もとも
と教頭先生は美術の先生でないで、私が3年生の3学期までたいした活動もせずに
きたんですが、私が何か一つ変だなあと思ったのは、F先生が人権部をつくった
でしょう。人権部は人権部でいいんです。それで私がおかしいと思ったのは、F先
生が人権部をやりたいと思ったら、それから部員が集まってちゃんと活動が
できるのに、どうしてやりたいと思って集まっている美術部が活動できないの
かなあということでした。今は3学期に新しくおいでた美術の先生が教えて
くれていますが、美術部の活動は1学期、2学期とあまりできませんでした。部
落問題の学習でみんなが一生懸命話しているのに途中で全然関係ないことを
言ってすみません。けどこれは私の友だちや美術部の仲間全員がずっと
言いたかったことなんです。今日全体学習があるので、一度みんなにも聞いて
ほしいと思って言いました。

MK(女) Iさんに続けるんですけど、私もIさんからそのことを聞いていたので、私このことは近藤先生に言ったことなただけで、私もちょっとおかしいなあとあって腹を立てていたんです。どうして先生が勝手につくった部活が続けられて、美術部で今まで自分たちが好きで一生懸命守ってきた美術部が、どうしてつぶされなければならないのかと思って、私すごく腹が立っています。私、その時思ったんですよ。部活というのは生徒が自分が好きだから一生懸命やっついこうとするものではなくて、先生の管理の上でやっていたんだなって……。そのとき物凄くショックだったんです。それから近藤先生が職員会で話し合ってみると言ってくれたから、その場はホッとしたけど、そここのところはおかしいと思ったんです。全体学習とかをやっているけど、矛盾したようなことがいっぱいあると思うんです。私の身の周りでも、先生の間でもそのようなことを直していかなければいけないと改めて思います。

T 4: ありがとう。だから全体学習がつぶされそうになっていくんでしょう。だからここの取り組みを続けていかなければならないと思うんです。私たちの周りにはまだ根本から洗わなければならないことがいっぱいあると思うんです。その中から私たちの確かな生き方が生まれていくと思うんです。

MK(男) 4月から始まって5回にわたる全体学習で僕たちは、差別を見抜く力と間違った考えを正しく直していく力をつけたと思います。そしてもっと大切なのは互いに信じ合える友だちや本音を語り合える友だちをつくることができたことだと思います。そして何よりここで発表しているみんなをここにみんなが支えていかなければ、この全体学習はここで終わってしまうと思います。だからここにいても、差別に苦しめられてつらい思いを持っている人もいます。だからそんな思いを持っている人をなくすためにも、今ここにみんながそんな人たちを支えて意見を言ってもらいたいと僕自身思います。

RA(女) 今、今日の授業は3年生だけって言よかったけど、1年生とか2年生の人も来てくれてすごくうれしいです。私は5回全体学習をしてきたけど、何やかんや言ってもまとまってないかもしれん。綺麗事言えるかもしれんし、あんなこと言うてる子もおるかもしれん。けどいいかげん格好つけるんやめないかんと思う。ほんまみんなやって差別なくしたいと思うてるはずやし、いじめよる人やって、ほんなんしどうないっていう気持ちもあるはずやと思う。なんや関係ないって格好つけてしまう自分が情けないと思うてる子もおると思う。こうやってみんなが言うて全体学習して、今まで私たちが頑張ってきたことがなんだったんだらうと思う。Kさんの話を聞いていても、ほんまにつらあなって私たちの関係ってこんなもんだったんかと思う。3年生、まとまるとるような振りしてほんまはまとまってないかもしれん。今ここでまとまらんかったら後はないけん。このままだったら今の私たちは1年、2年の子に頑張ってるほしいや言えんわ。今私たちがきちんとしていかんかったら、全体学習も終わってしまうような気がするし、先生やって一生懸命になつてるのに、私たちが期待裏切ったら、どうしようもないと思う。1年の子も、2年の子も、頑張っついこうという気でここに来てくれとるんやけん。私たちがしっかりせないかん。1年の子にも2年の子にも頑張ってもらおうと思うし、1年の子にも2年の子にも発表してもらいたいと思う。私たちの気持ちを一つにして、1年や2年の子に思いをつないでいきたいといます。

T 5: 今のAさんやKさんの思いにつないでいってください。

RO(女) この全体学習を始める前に、教室でみんなで発表しようなって約束したんです。Aさんが言ったようにここでほんまの思いを伝え合うことができなかつたら、もう後がないと思うんで

す。私たちのクラスだけではなくて、みんなが発表できたらいいと思います。みんながあの約束を忘れないようにみんなで発表できたらいいと思います。

AA(男)自分一人でも差別を解決していこうとする姿勢がいます。

HK(男)僕たちの学年は勉強も悪いし、よく物とかを壊すけど、全国的に誇りにできる全体授業ができるということだから、みんなもこの取り組みを誇りに頑張っていけたらと思います。

MK(男)話は変わるけど、僕は小学校の時、板野中学校は悪いところだと聞いていました。でも3年生のなって全体学習に取り組んできて、板野中学校は学校全体で差別解消に取り組んでいるすばらしい学校だと思うようになってきました。

YS(女)みんなに一つ教えてもらいたいことがあるんです。信頼の意味を教えてください。今頃になって教えてもらうのは遅いかもしいけど、どうしてもそのことをはっきりしておきたいんです。信頼の意味を教えてください。

MK(女)信頼ということの意味は、自分が一生懸命に友だちと共に何かに取り組んで付き合っていくうちに、この子なら私のことをわかってくれるという思いが生まれてくる。私の場合はそれが信頼だったと思うんです。信頼というのは相手から生まれてくるものではなくて、自分が一生懸命に頑張っていく中で、この相手なら信じていることができるという思いとなって生まれてくる。それが本当の信頼だと思うんです。私はそう思うんです。

T 6: 本当の思っていることが伝え合える関係、己を偽ることなく、ごまかすことなく語り合える関係、そんな関係をつくるためには、まず自分が立ち上がっていかなければ、本物の信頼に出会うことができないんです。そして、みんなが立ち上がるとは、ここで手を挙げて本当の思いを語るということです。また、みんなが一生懸命に歌が歌える関係もそうだと思うんです。歌を歌った時、ちゃかしたり馬鹿にする人間がいない関係、みんなが心の底からわかり合えて信じていることができる関係、そんなつながりを求めて頑張ってきたんでしょう。卒業式もそうだと思うんです。信頼というものを明らかにし、立派に別れて立派につながっていく。そんな信頼を求めて頑張ってきたと思う。みんなに心の底から言いたい。本当の信頼を求めて仲間の思いにつなげていこう。これが最後だ。

CO(女)これが最後の全体学習になるけど、去年の3年生が私たちに全体学習を続けてほしいと言った時、私は私たちにはできんと思っていたし、すごく不安だった。今みんなが発表するのを聞いていたら、私たちにもできたんやなあという感じがしてうれしかったし、去年の3年生が私たちに言うてくれたように、今は私自身、1年、2年の人にこの全体学習を続けてほしいと本当に思う。去年の3年生が私たちに言うてくれた気持ちが、今わかるような気がする。それとKさんの友だち、今Kさんが一生懸命に頑張っているのに黙って座っているのは、Kさんを裏切ることになると思う。頑張してほしいと思う。

SK(女)信頼というのは自分の嫌な部分も全部さらけ出せたり、格好つけなくても一緒に過ごせる友だちとの間にできるものだと思います。私は卒業式の歌の練習をしても、あまり大きな声で歌うことができません。大きな声で歌っていたら音痴とか言われへんかと思って、声がどうしても小さくなってしまいます。そんなことを考えてしまうのは、友だちを信じていないということだと思います。私は格好をつけて生きるのではなくて、友だちを信じてありのままに生きられる生き方がしたいと思います。さっき歌の練習の時、いやがらせを受けた子がB組におるというのを聞いて、私はB組の仲間として、そのことに全然気がつかなくてごっついつらかったです。

NN(男)差別する人が一人でも減るように、これからも全体学習を続けてほしいと思います。

CM(女)私はすごく大切に思っている友だちが、つらい目にあっていても何もしてあげることができませんでした。私はKさんみたいに強い人間にはなれませんでした。その友だちからこういうことを聞かされた時も、影でそんなんずるいとか、卑怯などか言うだけで、私はその相手の子には何も言えなかったし、最後の方にはそのつらい思いをしよる子が何も抵抗せんのだったら、もうええんと違うんと言っていてあきらめていました。結局自分が卑怯な人間だったんだと思います。でも私は一生懸命に強い人間になりたいです。いつまでもみんなと頑張れる人間でありたいです。

KT(男)僕が差別解消への行動を起こせたのは、全体学習ぐらいです。僕の他にもそういう人がたくさんいると思います。もし全体学習がなくなったら、僕みたいな人間も行動に移せる機会がなくなってしまうので、1年、2年の人にも頑張って続けてもらいたいし、僕たちができなかったことをやり遂げてほしいです。

DY(男)全体学習を続けてほしいけど、3年D組の全体学習の時の6時間目の全体授業で2年生の生徒が、笑いながら発表していました。あんな形で発表するような全体学習は絶対してほしくないです。

YI(女)1年、2年の人にも発表してもらいたいです。私はこの全体学習を少し面倒くさいと思っていた時がありました。でも友だちの涙を見て、友だちの思いに触れて、本当に一生懸命に頑張りたいと思うようになりました。

YM(男)Oさんが言っていたように、僕たちはここにくる前に、みんなで約束しました。けどまだ手を挙げられていない人がいます。みんなのことがまだまだ信頼できないのかなあとと思います。本当に信頼できるんだったら頑張って手を挙げてください。

YA(男)さっきA君が言ってくれたことに続けて言いたいと思います。僕たちはやがて新しい進路に進んでばらばらになってしまいます。板野高校に行く人は100人ぐらいの仲間がそばにいてくれるけど、板中の仲間と別れてたった一人や二人になる人もいます。その一人や二人になった人が、仲間はずれにされたり、いじめられたりするかもしれません。そんな時A君が言ってくれたように、一人一人がもっともって強くなっていかんければ、これからはやっていけないと思います。僕もたぶん、みんなと別れて一人になると思うけど、みんなと頑張ってきたことを支えに頑張りたいと思います。

NS(女)3年になっての6月ぐらいに私が言った一言で、私は何人かの人にひどくいじめられました。そのことを私は黙ってだれにも話さずにおこうと思っていたけど、AさんやMさんに相談しました。そのときAさんやMさんはいろいろと言ってくれました。それで少し落ち着きました。でもこれからは高校生として強くならなあかんけど、いじめられると思うと怖いんです。

MK(女)発表して恐いとか、誰々さんの目が恐いと思うのは、差別者に好かれようと思う心があるからだと思うんです。発表しなかったり、何も言い返さなかったり、反抗しなかったら、差別者に気に入られるでしょう。だから発表できないんです。私の友だちもいやがらせを受けた時何も言わなかったんです。「どうして何も言わなかったん、私がちゃんと言うてあげる」と言ったら、後から何をされるかわからないので恐いというんです。後から何かされるのが恐いというのは、その差別者に気に入られようとしているんです。何も言わなかったら差別者に気に入られるし、被害も加えられない。そう考えると黙って泣き寝入りした方がいいと思ってしまふ。でもそれは自分自身をほんまに惨めな情けない人間にしてしまうことなんです。絶対差別

者の思い通りになるような人間になってはならないと思うんです。泣き寝入りして、思い通りになっていて、絶対に幸せになっていかないし、それは差別者を増長させて差別を肯定して差別を繰り返させてしまうことになっていくんです。そんな状態の中でいくら差別問題を語り合ってもそれは何の解決にもなっていないんです。私は差別者と闘いながら、差別問題に取り組んでいくという姿勢をみんなが持っていかなければ、この全体学習も本物にはなっていないし、単なる綺麗事の世界で終わってしまうと思うんです。

DY(男)Kさんに聞きたいんですけど、そのいじめられよる友だちには何かしてあげましたか。

MK(女)私には励ますぐらいのことしかできていません。その子が差別者と闘えるような人間になるように私は今一生懸命、私の本当の思いをここで語っています。その時は、カッとになっていやがらせをした子のいるクラスや友だちのいるクラスに殴り込んでやろうと思ったけど、森口先生に電話をして、今話したようなことを考えるようになりました。

NS(女)私がさっき言ったことについてですけど、私は心の中で差別者に好かれようと思ったかもしれません。でもいじめられた時のつらさって、ほんまにつらいんです。その気持ちはいじめられた人にしかわからないと思います。

CO(女)自分をわかってもらうことだけ考えて、人のことをわかろうとしないのでは何も変わっていかないと思います。それと1年生と2年生の人は、今私たちがしていることを見てどう思いますか。それが聞きたいです。

RO(女)さっきのSさんの発表についてですけど、Sさんの苦しみは差別された人にしかわからない苦しみだと思います。私はあまりそういうことをされたことがないのでわからないんだけど、差別された時とその後が問題なんだと思います。そこで泣き寝入りというか、黙ってしまったら、負けたことになるかもしれないけど、私は負けん気が強いのでなにくそと思って言い返したりすると思います。それはその人次第だと思います。すごいこれは難しいことだと思うけど、その後で差別された人がどう反応し、どう行動するかということで、その人のその後の生き方に大きな影響を与えていくと思います。周りの環境とか、友だちとの関係というものもあるだろうけど、やっぱり頼れるのは最終的には自分一人だから、自分が強くなっていくことが最も大切だと思います。そして、自分に自信を持つことが強くなるということになっていくと思います。自分に自信を持ってなにくそという気持ちで立ち向かっていけたら、その人の生き方は絶対すばらしいものになっていくと思います。みんながそうなってほしいと願っています。

ET(女)私はSさんの気持ちはあまりわからないので応えることはできないけど、Kさんに助けてもらった人はわかると思うんです。これは全体学習が始まった頃から思っていたんだけど、Kさんはいつも友だちのことを話してくれるけど、その友だちがKさんに応えている場面を見た記憶がないんです。だからKさんの思いをそのまま受け止めてSさんに自分の気持ちを言ってあげてほしいと思います。それとたくさんの人が1年や2年の人に全体学習を続けてほしいと言っているけど、今の3年生には一番始めにした全体学習のような感動はないと思うんです。あの時みんなが流した涙やみんなが一つになれた感動をしっかりとよみがえらせて、ビデオを通してでも伝わるようなすごく大きな感動として訴えていかなければ、今のままでは全体学習はなくなってしまうと思います。私たちには今しかないのだから、自分の本当の気持ちを訴えていかなければ、今までの私たちの頑張りは何だったんだろうかと思うようになってしまいます。仲間の流した感動の涙を決して無駄にしないためにも、今この全体学習を精一杯に頑張らなければと思います。

T 7: ほんまに最後や。Tさんが今言うてくれたこと……。しっかりとかみしめて頑張っていこう。

HT(女) 3年E組の人たちはうすうす気づいていたかもしれないけど、私は2学期に入ってちょっとして学校に来るのが嫌になって、登校拒否をしていました。他のみんなと違ってだれかにいじめられたとか言うのではないんだけど、とにかく学校に来るのが嫌で、結局自分の方から逃げていたんだと思います。その時は何人かの友だちが電話をかけてきてくれて、「どしたん？」って聞いてくれたけど、結局少しも自分から話ができませんでした。電話を受けるのも物凄く苦しくて、今思い出しても嫌です。結局あの時、自分が自分に立ち向かえる強さがあつたら、私は登校拒否になんかならなかつたと思うし、自分で周りの人に迷惑をかけることなしに、自分で片付けることができたと思います。でもあの時はどうしていいのかわからず、ずっと学校を休んで友だちとかにいろいろ励ましてもらったけど、結局問題なのは自分で自分はどうのような行動をとればいいのか少しもわからなかつたし、友だちに学校にきてほしいと言われても、行きたくないの一点張りで行かなかつたし、あのとき学校を休んで何かわかつたかと言うても何もわからなかつたし、結局嫌な思いをただけで、また学校に来れるようになったけど、私は私なりに少しは強くなれたような気がします。だけど、あのとき励ましてくれた友だちや先生や親たちにも迷惑をかけて、先生や友だちにもごっつい苦しい思いをさせたと思います。このことは3年E組で学活とかがあつたときにも言おう言おうと思つていたけど、ずっと言えなかつて、本当にみんなを信じていたのに言えなかつて、自分にも何か負い目みたいなものがあつて、物凄く言えないということが心に残つていて苦しかつたけど、今ここでみんなに話ができることがとてもうれしいし、心の負い目を少しなくなってよかつたと思います。私は今の3年生のみんなを信じているし、このことで何か言われても、あのときは私が悪かつたのだから、何も言い返すことができないけど、あのとき私にはああするしかできなかつたし、自分の中でも結論はだせませんでした。でも私のわがままで周りの人に物凄く迷惑をかけてしまつたし、あれだけ迷惑をかけても支えてくれたり、励ましてくれたみんなを私は心の底から信じているし、そんなみんなに最後の全体学習をこの程度で終えてほしくないと思います。

T 8: 仲間の思いに応えていこう。

TA(男) 今までずっとTさんと同じクラスでTさんと言えば、いつも何でも一番にやつたり、まじめに取り組んだりして、僕はちょっと尊敬の目で見ていました。けど、Tさんにそんな思いがあつたなんて、僕は今まで全然知りませんでした。何か今、何とも言えない気持ちです。

ET(女) 卒業の少し前までクラスの一員の本当の気持ちを知らなかつたということは、すごくつらいです。Tさんがそんな思いをしていたのは、私も全然知らなくてすごく情けないです。Tさんの思いを3Eのみんなや3年のみんなでも受け止めていけたらすごくうれしいです。

AA(男) 全体学習を2年や1年に続けてほしいといつたけど、全体学習が続くということは差別がまだ残つているということなので、一日も早く部落差別を解決していくことがこれからの大きな課題だと思います。

AM(女) あんまり上手に話ができんかもしれないけど、みんな後少しで卒業してしまうし、高校もバラバラになつていろんな差別とかに出会うときがあると思うけど、みんなここで学習したことをいつまでも心に刻んでいって、いつかみんなでも本当に差別がなくせるように強くなつてほしいと思います。ほなけん、違う高校に行つても、いい友だちをつくつてその人と信頼し合つて、毎日毎日少しずつ強くなつていけるような人になつてほしいと思います。

TK(女)私はもちろんD組のみんなを信頼しているんだけど、今聞いていたら発表している人の言葉の一言一言が重くて、みんなの発言に比べて自分が今言っていることは綺麗事のように思えて、そのことが不安でなかなか手を挙げるのができませんでした。でも今立って発表できてうれしいです。みんなと意見が違うかもしれないけど、1年や2年の人に発表してほしいという発言もあったけど、私は残り時間は3年生のみんなで精一杯発表してほしいです。1・2年の人で発表したい人がいるかもしれないけど、残り時間を3年生にください。

KM(男)Tさんは今まで自分がつらくて言えなかったことをここで言うことができました。それでTさんも強くなったと思います。人間というものは、最後の最後までものすごい力が出せるので、だからみんなその要素を持っているはずなので、これからの生活でそれにもっと磨きをかけていってほしいと思います。

T 9:時間がオーバーしています。最後の全体学習、みんなにとって悔いのない最高のものになりたい。今挙手している人、起立してください。最後順番にマイクを回し、みんなの発言を保障して最後の全体学習をしめたいと思います。それでは順番をお願いします。

SI(男)僕は今ここで発表したことをずっと忘れたくはありません。そしてみんなの一言一言を大人になってもずっと覚えていきたいです。

KE(女)私はTさんとかA君とかM君とかと一緒にTさんと同じクラスでありながら、Tさんが休んでいたのは他の理由があると思ってかってに解釈して全然知りませんでした。3年E組で平和に暮らしてきたと思っていたけど、Tさんの苦しみに全く無関心だった自分が今とても嫌でした。それと今日の全体学習を通して、Kさんの思いやIさんの意見を聞いてよかったと思います。先生にもいろんな人がいるから、なかなかこの全体学習のよさを理解してくれない人もでてくると思うんです。でもこの学習はみんなで心をつなぐに取り組んでくることによってそのすばらしさがわかってきたので、一緒に取り組むこともせずに遠くから見ている先生には、この全体学習のすばらしさがわからないかもしれないけど、1年生や2年生にも頑張ってもらってそんな先生方にも、全体学習のすばらしさをわからせてあげてほしいと思います。

TI(男)この全体学習を通して、今までしてきたことは大人になると必ず役に立つときがくると思います。中学校を卒業するともうこういう機会はなくなってしまうと思うけど、今の自分をそのまましておくのではなく、常に進歩し続けるような自分でいたいと思います。

HO(女)私はTさんのことをよく知っていると思って、毎日電話をしていたけど、ただ「早く学校に来なよ」としか言えませんでした。本当のTさんの気持ちがわかっていませんでした。Tさん、本当にごめんなさい。私は高校はTさんと別れるけど、ずっとこれかも忘れずにいたいし、高校へ言っても一生懸命友だちを信じて、たくさん友だちをつくっていきたくてと思っています。

YO(男)Tさんが学校を休んでいるのは知っていたけど、ただ調子が悪いのだと思っていました。Tさんには2年生のときいろいろとお世話になっていたのに、僕はTさんに対して何もできませんでした。クラスが離れたといっても、もっと広い範囲で人の気持ちがわかる人間になりたいです。

MK(女)3年生になって今まで全体学習をしてきたけど、今思ってみると本当に私が自分の心の底から思っていることを言えたのかなあと思います。みんなを信頼してきたと私は思うんだけど、やっぱり自分の本音を言えてない部分があったのではないかなあと思いました。

KS(男)僕はこれまでの1年間を振り返ってみると、3学期になって惨めなことが一回あったこと

を思い出します。僕はいじめられることを恐れてみんなから逃げる回数も多かったです。一番つらい思いをした2月19日、僕は肩を痛めて泣いていました。僕はC組の子に馬鹿にされました。本当につらかったです。2年生の修学旅行の頃、物凄く痛めつけられていました。修学旅行の2日目、僕は泣き寝入りをしました。黙って耐えるだけでした。今思うと3年間で泣き寝入りをしたことが2回あります。たとえ高校へ合格できても笑えないと思います。この発表をする前は興奮して心臓もドキドキしていました。自分自身は本当に最低な人間だったので全然強くなれませんでした。高校に行けたらどんなになるかわからないけど、とにかく気合いを入れて頑張りたいです。

SN(男)さっきちょっと前にA君が言ってくれたことに続くんだけど、これからみんな違う高校に行くと思うけど、今までやってきた3年間の全体学習のことや今ここでやっている全体学習のことをこの体育館の中にいる先生方や1・2年の子や、それから同じ部活をしていて違う高校へ行く子やに少しでも3年間のことを心に残しててもらいたいです。

AM(女)全体学習に来る前のある子と約束をした発表をすることができてよかったと思います。D組の女子もほとんど立って発表してくれたので、とてもうれしかったです。このことを高校に言っても忘れずに頑張りたいと思います。

DY(男)今、後ろで聞いている1・2年生の人の中には、もう早く帰りたいと思っている人がいるかもしれないけど、よく聞いてください。僕の親戚は今、部落問題に直面しています。僕の親戚の女の人が、ある男の人と付き合っていて結婚しようとしているんです。その相手の男の人はK町の部落の出身で、僕の親たちがそんな男の人との結婚は許せんと言っているんです。そのような状況で親戚の女の方は家を出て行くと言っているんですが、そんな時、僕の親が部落問題は後10年してもなくなりはせんと言いつちりました。僕の親が言うには、部落差別をするように親たちから教育されてきた人たちが完全にいなくなるまでには時間がかかるということでした。その人たちがいなくなっても、そのまま放っておいたら人間には弱い部分がいっぱいあるから、知らず知らずのうちに部落差別をしていくと思うんです。だから僕たちがしてきたような部落問題に対する学習は、絶対になくしてほしくありません。これからも続けてほしいと思います。

HO(女)私はこの全体学習をずっとしてきた中で、初めて発表します。私は……………。(涙)

AT(女)この板野中学校に入学してからずっと部落問題学習に取り組んできたけど、この学校に入学して本当によかったと思います。これからみんなはバラバラになって高校は離れるけど、いっぱい差別に出会うことがあると思うけど、この3年間で学んだことを思い出しながら頑張っていきたいと思います。

YB(男)この授業を始める前の休み時間に、その子の友だちも発表するから、発表せえよって言うてまわりよる子がおって、物凄くそのことに感動して、こんな友だち関係を守っていけたら友だち同志のいじめとかいうものが絶対なくなると思いました。

MH(女)最後の最後まで何にも言えないのは嫌だから立ちました。たったこれだけの言葉でも言えてよかったと思います。Kさんほどは言えないかもしれないけど、これからも頑張りたいと思います。

HM(男)今までいろんな人の思いを聞いてきたけど、僕もその人たちに応えていくことのできる人間でありたいと思うし、みんなの思いを心の糧として僕自身ももっと強くなっていきたいです。

YF(女)最近私の仲のよい友だちが5・6人から悪口を言われて泣きながら相談に来たことがあつ

たんです。私は陰口を言うのはすごく卑怯なことだと思うから、言わないようにしているんですけど、その時は思わず「何それ！」と言ってしまいました。その5・6人は関係のない人でその友だちのいいところを全然わかろうとしないのにすごく腹が立ちました。けどその陰口を言われた子がすごく強い子で結局私は何もしてあげられなかったけど、そんな卑怯なことはこれから絶対したくないなあと思いました。

AO(男)この1年間は発表できず、悔いが残った1年間でした。僕が大人になった頃、この全体学習の取り組みによって部落差別がなくなっていることを信じたいです。

HF(女)私は今までこういう場面で話をしたことがあったけど、他の人にとったら綺麗事という感じで聞こえたことがあったかもしれません。でも私は本当に言いたいことがあったから発表してきました。もう少しで私たちも卒業です。みんなバラバラになるけど、みんなでこうやって意見が言えたことを忘れないでいてほしいと思います。

AA(女)もう少しで卒業で高校生になったら、他の学校の子と勉強して生活するようになると思うけど、もし差別に出会ってもKさんのように負けないで強くなって生きたいと思います。

YT(男)今まで全体学習にみんなで必死に取り組んできたけど、最後の最後にまとまったような気がします。こんな全体学習が高校になれば数少なくなって、その限られた時間を大切にしなければ、部落問題学習ができなくなると思うんです。高校での部落問題学習は、僕たちが勇気を出して本当の思いを語っていったとしても、その思いに応えてくれる人は数少なくなっていくと思います。いつもずっとやってきてその最後に僕たちの連れが悪いことをしたりして、先生方に迷惑をかけたことがありました。でもこの全体学習で語ってくれた仲間の思いは本物です。この最後の全体学習にみんなはかけていました。僕たちはいっぱい失敗してきたけど、この全体学習を通して培った部落差別をなくしていこうとする熱意だけはだれにも負けません。この思いは、1・2年生に自信を持って最高の贈り物として贈ることができます。これからも差別解消をめざしてみんなで頑張り続けたいです。

YT(女)私はここで発表するのは初めてです。ずっと発表したい気持ちがあったけどできませんでした。最後の最後に言えてうれしいと思います。私はA町の友だちに板野町は恐いと言われたことがあります。その子は板野町には来ると言われたことがあったと言いました。特にM地区には絶対行くなと言われたそうです。そのことを言った人は板野町の人だということでした。その人は板野中学校出身で、私たちより三つ年上の人でした。三つしか違わない板野中学校出身の人にそんな人がいるということがごっついむなしかったです。その人は悪いことをしている人だけど、根性までくさっと思ったと思います。M地区はやくざがいっぱいおるけん行くなって、言ったら殺されるとか、わけのわからんことをいっぱい言ったそうです。確かにM地区の人の中には派手な人もいます。でもいい人ばかりだと思えます。私がこんなふうに見えるようになったのも、この全体学習のおかげだと思っています。前の私だったらこんな考え方できなかったと思います。板野中学校にいてよかったと思えるようになりました。森口先生の生徒でほんまによかったと思います。この3年生のみんなと全体学習ができてほんまによかったと思っています。

TH(女)さっきOさん(涙で発表ができなかった)が初めて発表してくれてごっついうれしかったです。いっばいつらいことがあって涙が止まらんけど、言いかけた後のことを最後まで頑張っていってほしいです。

MF(女)私はいつもKさんに相談ばかりして、いつも助けられていました。何をしても弱虫で

逃げてばかりでした。発表する前に何度か手を挙げていたんですけど、半分ぐらいしか手が挙がりませんでした。やっぱり逃げていたんだと思います。それでやっぱり友だちを裏切りたくないから言いました。これからもっともっと強くなっていきたいと思います。

MK(女)私の友だちに対して言いたいんだけど、ここで発表することが私のために発表しているのならやめてもらいたい。いつも全体学習が終わる度に、「ごめん、Kさん発表できなかった」って言われてきたけど、私が望んでいるのは私のための発表ではなくて、自分のために発表してそして強くなってくれることを私は望んでいるんです。わがまま言うけど本当に私が望んでいるのは、本当に友だちが強くなってくれることが、私の本当にうれしいことなんです。それと私、今初めて言うけど、この3年間、絶対親と森口先生と近藤先生以外に弱音を吐かんかったけど、初めて言います。Tさんはいいなあと思うんです。みんなから優しくされて……。でも私は本当の優しさというものを味わったことって、今考えてみればなかったように思うんですよ。私が優しさを受けたのは、私を利用するための優しさばかりで、私って一体何なんだろうと思うんです。みんなにとって私って利用していじめるだけのそれだけの存在でしかなかったんだらうかって思えて……。それと私の友だちが私にこう言ったんです。「Kさんには絶対勇気があるわ」って、友だちにとって私の存在って何なんだろうと思うんです。この3年間、私は全然弱音を吐かんかったつもりやけん初めてです。みんなにわかってもらいたいなあという気持ちで言います。私は自分に自信がなくて、みんなのように綺麗に人と付き合うことができなくて、余計に突っ張るところがあって、ごっついつらい思いをしたこともあったんです。私みたいな人間から見たらTさんって本当に幸せやなって思うんです。それは私の思い違いかもしれないけどそう思ってしまうんです。

MK(女)それと差別問題というのは、はっきり言って今から10年たってもたぶなくならんと思うんです。それは今の大人が汚い生き方をしている、その生き方を私たちが見ているからです。私たちの中にもやっぱり差別意識があります。その差別意識はなかなか取り払えるものではありません。私たちが差別解消の担い手になっていくという自覚を持ちながら、この取り組みを私たちの生き方を通して私たちの次の世代に託していくことが、これからの私たちに託されていると思うんです。決して今の大人たちのような本音と建前をうまく使い分けていく、醜い生き方はしないというこの全体学習のような確かな部落問題学習をしっかりと学んでいく必要があると思います。私はそんな気持ちで差別問題に取り組んでいます。それと私は、差別者と一緒に差別をしながら生きている人たちと一緒に話を合わせて差別問題に取り組みたくない。私は本当の共感できる人、そして私と一緒に強くなって差別問題に取り組んでくれる人とこの問題に取り組んでいきたい。これからも頑張るので、もし私の意見に共感してくれる人が一人でも二人でもいたら、これからも一緒に頑張っていきたいと私は思います。

MT(女)私は小学校から今までとても苦しかったことがあるんです。それは小学校の頃から私をいじめた女の子のことで、とても苦しい思いをしてきたんです。私も悪いかもしれないんだけど、その子は今この場にいるんです。まだ怖い気持ちがあります。そのことを言うのは本当に恐いです。後でいじめられたらどうしようと思います。前の全体学習で言ったらよかったですけど、私、恐くて言えなかったんです。それはさっきKさんが言ったようにやっぱりその子に好かれようと思っていただけなんです。とても悲しくて、私も死にたいと思ったことがあるんです。早く死ねば楽になれるのに、自分で自殺でもしようかと思ったことがあるんです。でもそんなことしたら、お父さんとお母さん悲しむし……。でもその女の子に小学校からいじめら

れてきてとてもつらくなって、とても悲しくて……、これ以上私を傷つけないでください。自分でそう思っているのかもしれないけど、私は弱い人間だから、もうこれ以上いやみとか言わないでほしいです。

H0(女)私は2年生の時、とてもつらい思いをしたことがあります。そのことを今でも考えるとすごく涙が出てきます。でもその時は、私自身がすごく弱くて強くなろうともしなかったと思います。これからずっと生きていく中で、私は弱い人間として生きていくのではなくて、強い人間として生きていきたいと思います。

T10：みんなの訴え、ほんまに大事にしていきたい。こんなに立派に闘っているみんなだからこそ、立派につながって、立派に励まし合って、立派に卒業して行ってほしい。時間がかかりオーバーしたけど、みんなとこの時間を過ごせたこと、私たちは忘れることはない。最後にAさんの書いてくれた答辞の一節を紹介して終わりにします。

『今静かに目を閉じますと、過ぎ去った3か年のさまざまな思い出が浮かんでまいります。何もかもが新鮮で期待と不安に胸ふくらませながら臨んだ入学式。クラス一つになり、友情の輪をより広げた体育祭や文化祭。また、2年生の修学旅行は自然の雄大さに感動し、戦争の悲惨さに触れ、平和への願いを強くした貴重な体験でした。真夏の太陽の下で、雪の舞う寒さの中で友と励まし合い、厳しい練習に耐えた部活動。自分との闘いだった受験勉強。そして、学年、学校全体で取り組んだ部落問題学習。私たちはこの部落問題学習で涙を流しながら自らの想いを語る友と、差別の怒りに震えた友と共感し合い、支え合い、仲間の絆を深め合うことができました。「本音を語る」たったそれだけのことがどれほど苦しいことなのか。私たちはこの学校で、この体育館で初めて知りました。部落問題学習に取り組んでいたときの私は「輝いていた」と自信を持って言うことができます。私たち卒業生は、この差別と闘おうとする炎を、身体を熱くする炎を今、在校生の皆様にとします。』

T11：最後の全体学習を終わります。



1992年度 板野中学校3年B組 人権劇「水平社バンザイ」を演じて